

群馬学講座 前橋・赤城編

日時：平成 27 年 12 月 1 日 10:00～12:00

平成 27 年 12 月 6 日 10:00～12:00

場所：東銀座ぐんまちゃん家

12月1日と6日に群馬学講座/前橋・赤城編を銀座にあるぐんまちゃん家で東京方面の人を対象に行いました。この講座は1月23日に実施する初代県令楫取素彦と文の足跡を辿る赤城山モニターツアーの予告編と位置づけております



IMG2779

12月1日、最初の講座は東京福祉大学教授栗原久さんでした。「初代県令楫取素彦と文の歩んだ里を探訪する」をタイトルに、楫取が明治初期の群馬県の絹産業振興に貢献したこと、前橋市民を始め、群馬県民と如何に絆を深め、信頼を得たかを話されました。



IMG2766

明治3年日本で最初の機械製糸の藩営前橋製糸場、明治5年に発足した官営富岡製糸場、明治7年民間初の水沼製糸所の開設・運営に群馬県として楫取素彦が協力し、当時日本最大の輸出アイテムとしての絹産業発展に貢献し、国力増強に繋がったお話でした。

楫取 素彦肖像



前橋市は洋式(器械)製糸の発祥地



藩営前橋製糸所(開設者: 速水繁曹)跡地の碑文
広瀬川の水力を利用(前橋市佐吉町1丁目)



水沼製糸所製品の商標
水沼製糸所跡(桐生市黒保根町水沼)

水沼製糸所の星野長太郎、弟で吉田松陰の思いが込められた短刀を楫取素彦から託され、渡米し、直接貿易を始めた新井良一郎らとの人的関係の構築が、群馬の、日本の発展の礎になったと話されました。

また、文との婚前旅行に、今の赤城温泉に行き、迷いの胸中を「雨となり 又はれとなる たゆたえに定めかねたる湯の沢の宿」と詠んだ記述が、県立図書館群馬風土記初版にあると話されました。

2コマ目は赤城山エコツアーリズム推進協議会長の吉田龍司さんに「赤城山自然探訪」と題し、赤城山の魅力を語って頂きました。



IMG2768

大変キレイな写真です。春はツツジです、神秘的たたづまいの夏の小沼、大沼の沼尻から薬師岳の紅葉、そして雪景色の黒檜山を背景にした氷上のワカサギ釣りです。他にも沢山の自然の魅力を伝える画像をもとに、ユーモアも交えたお話でした。

赤城白樺牧場 レンゲツツジの大群落



神秘的な佇まいの夏の小沼



沼尻(大沼)から紅葉の薬師岳



大沼のワカサギ釣り 黒檜山



12月6日は最初に株式会社群馬野生動物事務所社長春山明子さんで「赤城山で暮らす野生動物達を探訪する」のタイトルです。



IMG2782

私たちが、ササ刈り等による自然保護活動を継続実施している覚満淵の木道の下で子育てをしているタヌキの「キモッタママさん」です。普段は沢山の人を通る木道の下で、この撮影時には4匹の仔タヌキが確認できました。1ヶ月後には大分大きくなった仔タヌキが1匹だけでした、自然の中での子育ての厳しさがわかりました。



覚満淵



木道下の仔タヌキ (動画にする)

赤城山ではシカが増殖して食害が、ニッコウキスゲを始め、ウラジロモミなど大切にしたい植物に及んでおります。



ウラジロモミの木肌を食べるシカ

また覚満淵のテン、ツキノワグマ、柿を食べるサルです。ツキノワグマの胸にある白いマーキングには固体により特徴がある話や沢山の実体験による興味深いお話でした。



2コマ目は伊能友和さんによる「赤城山が育む魅力ある野菜づくりと試食会」のタイトルです。前橋市田口町で10h・130品種を栽培し、ハウス栽培でなく、露地野菜にこだわっています。この日は始めて聞く名前のコールグリーンとカリフラワーを持参し試食会を実施しましたところ、大人気でした。続いて1月23日に実施するモニターツアーでは試食会もプログラムに入っています。



IMG2786



IMG2788



以上、ぐんま学講座 前橋・赤城編の報告でした。